

平成27年度第2回資金管理委員会議事録要約

- ◆ 開催日時 平成27年11月12日(木) 14時00分～16時00分
- ◆ 開催場所 兵庫県庁2号館
- ◆ 出席者(会長◎)
 - ◎ 甲斐 良隆 関西学院大学大学院経営戦略研究科教授
 - 佐竹 隆幸 兵庫県立大学大学院経営研究科教授
 - 藤原 賢哉 神戸大学大学院経営学研究科教授
 - 安田 稔 格付投資情報センター格付本部副本部長
 - 米田 小百合 公認会計士

(公財)ひょうご環境創造協会の資金管理状況についての意見

- 中長期的な管理計画に、組織として意思決定した処分基準を示すこと。
- 仕組債は、現状、時価が簿価を上回っている状態のため、タイミングを逃さず処分を検討すること。

(社福)兵庫県社会福祉協議会の資金管理状況についての意見

- 運用対象商品に信託受益権が含まれているが、信託受益権の満期償還後は、指針適合商品での運用を行うとともに、規定を改めること。
- 決済性預金として必要な金額を精査することにより、運用できる資金が生じるのではないか。また、特定の銀行に預金を集中させることにはリスクがある。

指針不適合商品に対する今後の対応についての意見

- 資金管理についての公社等の自主性を引き出す観点から、指針不適合商品の処分基準を公社等が自ら定め、それが遵守されているか、資金管理委員会としてモニタリングする形で、速やかな処分を働きかけるべき。
- 現在各公社等で作成している中長期的な管理計画は、記載内容が統一されておらず、公社等における意思決定プロセスが不明確なため、ひな形を事務局で作成し、各公社等に示すなど、改善案を検討すること。